

# 沖繩市水道ビジョン（第2次水道事業基本計画）

平成27年3月

沖繩市水道局

## はじめに

沖縄市の水道事業は、1974年(昭和49年)4月1日、旧コザ市・旧美里村が合併し、沖縄市が誕生したことにより、両市村の水道事業を引き継いで創設されました。旧コザ市時代の通水から数えて今年で57年目となります。

合併後は、給水区域が拡大したことによる人口増加と都市化の進展に伴い、配水池の建設、配水管網の整備・統合や出水不良地域の解消に奔走し、平成6年には普及率100%を達成しました。

平成8年には、赤水・濁水の解消、漏水対策や効率的な水量・水圧の維持管理の観点から配水ブロックの構築に着手し、平成12年より配水ブロックを運用開始。水道水の安定供給に努めてきました。

これまで我が国では、経済成長と人口増加に伴う拡張を前提とした施設整備を行ってきましたが、現在、本格的な人口減少時代を迎えようとしています。全国の水道事業体においては、今後、給水収益の減少が見込まれる厳しい財政状況が予想されています。また、事故・災害への対策等、水道を取り巻く社会情勢・経済情勢も大きく変化しています。

本市においても、給水人口は微増傾向であるものの給水量は減少傾向にあります。また、本土復帰直後に整備した水道管の経年化や老朽化による大規模な更新時期を迎えています。

今後は、更新・耐震化・安定給水を方針とした「沖縄市水道施設整備事業計画(管路耐震化計画・更新計画)」を基に、経年化・老朽化施設の更新だけではなく、事故や地震などの自然災害にも強く緊急時のバックアップ機能も備えた強靱な施設の構築を行い、社会情勢・経済情勢の変化にも対応した事業を展開しなくてはなりません。

これらの諸課題解決に向け、将来にわたり安全で安心な水道水の安定供給を行っていくためには、これまで以上に効率的かつ合理的な水道事業の運営が重要となります。

このような状況を踏まえ、水道事業全般にわたる将来構想として平成27年度から平成36年度を計画期間とする「沖縄市水道ビジョン」を策定しました。

今後、この計画に基づいて各種施策を展開する所存でありますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成27年3月



沖縄市水道事業管理者  
水道局長 仲宗根 弘

## - 目 次 -

はじめに

### 第1章 沖縄市の概況と水道事業の沿革

1 沖縄市の概況 .....	1
2 水道事業の沿革 .....	6

### 第2章 計画策定の趣旨

1 これまでの主な取り組み .....	10
2 沖縄市水道ビジョン策定の趣旨・推進方法 .....	11
3 沖縄市水道ビジョンの位置づけ .....	12
4 計画期間及びフォローアップ .....	13

### 第3章 基本理念・重点的な実現方策

1 沖縄市水道ビジョン基本理念 .....	14
2 重点的な実現方策について .....	15
3 フォームの見方 .....	16

### 第4章 重点的な実現方策

1 水道施設のレベルアップ	
1 送・配水管 .....	18
2 配水池・ポンプ場 .....	20
3 配水ブロック(水量・水圧の効率的な維持管理) .....	22
4 有効率の向上を目指す .....	24
2 資産管理の活用	
1 健全な水道事業運営を目指す .....	26
3 人材育成・組織力強化	
1 環境の変化に対応できる職員育成 .....	28
4 危機管理対策	
1 事故・災害時に対応できる水道 .....	30
2 応急給水 .....	32
3 応急給水拠点 .....	34
5 環境対策	
1 環境に配慮した社会を目指す .....	36
6 水源環境の保全	
1 河川流域を守る .....	38
7 住民との連携	
1 コミュニケーションの拡充 .....	40
8 貯水槽水道対策	
1 貯水槽の管理 .....	42
9 安全な水道水	
1 適切な水質検査 .....	44
10 国際貢献	
1 連携による技術支援 .....	46
資料編 .....	48